

わたしたちのゆえに

喜びの歌を歌われる神

ゼファニヤ書 3 : 14 - 20



司祭 ヨハネ 井田 泉

2024年12月15日

降臨節第3主日

聖光教会にて

クリスマスを間近に控えた今日は降臨節第3主日。先ほどの詩編の中から呼びかけが聞こえました。

「神の語られる言葉を聞こう」 85:8

そこでまず今日の福音書の言葉を聞きましょう。

「そこでヨハネは、洗礼を授けてもらおうとして出て来た群衆に言った。『蝮(まむし)の子らよ、差し迫った神の怒りを免れると、だれが教えたのか。悔い改めにふさわしい実を結べ。』」

ルカ 3:7-8

いきなり厳しい洗礼者ヨハネの言葉です。洗礼者ヨハネは、救い主が来られるその準備をするために神から遣わされた人物です。彼は、やがて来られるメシア、救い主は、同時に審判者、世を裁かれる方だと理解していました。それで彼はこの社会の悪を責めました。また一人ひとりが自分の罪、神への背きを知るように促しました。そうして、悔い改めと罪の赦しのしるしとして、ヨルダン川で洗礼を行ったのです。多くの人々が洗礼を受けるために、彼のところにやってきます。

ところがヨハネには、その人のありようが見えるのです。真心からでなしに、反省の思いなしに、新しくまっすぐに生きようという願いなしに、ただ自分の安泰と安心だけを求めて安易に洗礼を受けようとする人々に対して、彼は怒りを発しました。

「悔い改めにふさわしい実を結べ。」

しかし彼は、良心の痛みと祈りと決意をもって洗礼を願う人たちには、彼は喜んで洗礼を授けたのです。

このヨハネに対して民衆の期待がありました。

「民衆はメシアを待ち望んでいて、ヨハネについて、もしかしたら彼がメシアではないかと、皆心の中で考えていた。」

ルカ 3:15

しかしヨハネはそれをはっきりと否定しました。自分はメシアではない。やがて来られるその方のために備えをする者である。そしてこう言いました。

「その方は、聖霊と火であなたたちに洗礼をお授けになる。」

3:16

わたしが行っている水による洗礼はその方を迎えるための予備的な洗礼であって、やがて来られるその方が、聖霊と火でほんとうの洗礼を授けてくださる。

「聖霊と火による洗礼」と言うとは何かあまりに異常で恐ろしい気がするかもしれません。けれども「聖霊」は神の命、神の息吹と理解しましょう。また「火」とは神の燃える愛です。その方イエス・キリストが洗礼を授けられる。わたしたちは神の息吹と神の燃える愛によって赦され清められる。神の願いをわたしの願いとし、神の国に向けて新しく生きる者とされる。これはまさにわたしたちが受けた／受ける洗礼です。わたしたち

のうちに神の息吹が吹き込まれており、神の愛の火が燃えている。それを再発見しましょう。

今日の福音書はこう締めくくられています。

「ヨハネは、ほかにもさまざまな勧めをして、民衆に福音を告げ知らせた。」 3:18

ここに注意したい言葉があります。「ヨハネは……民衆に福音を告げ知らせた」。

彼の告げ知らせたのは福音なのです。いかに厳しいことを語ったとしても、ヨハネは福音を、喜ばしい知らせを伝えたのです。救い主が来られる。この上ない喜びの知らせです。

ところでその「福音」、良い知らせ、喜びのおとずれとはどのようなものでしょうか。今日の旧約聖書日課、ゼファニヤ書がそれをはっきりと告げています。今、その中から一つの節に耳を傾けましょう。

「お前の主なる神はお前のただ中におられ／勇士であって勝利を与えられる。主はお前のゆえに喜び楽しみ／愛によってお前を新たにし／お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。」

3:17

これが福音です。遠い昔に預言者ゼファニヤによって語られた言葉。そしてイエス・キリストによって現実になった福音です。何が言われているのか、三つに分けて確かめてみましょう。

まず初め。

「お前の主なる神はお前のただ中におられ／勇士であって勝利を与えられる。」

あなたの主なる神は、わたしたちを救うために来てくださったイエス・キリストは、あなたのただ中におられる。漠然とどこかにというのではなく、あなたがたの真ん中に、またわたしたち一人ひとりの中に、わたしたちと共におられる。そしてこの方は「勇士であって勝利を与えられる」。わたしたちは力がなくても、この方が困難を克服させてくださるのです。

二つ目です。

「主はお前のゆえに喜び楽しみ／愛によってお前を新たに」
される。

神さまはわたしたちのことがうれしいのです。「お前のゆえに喜び楽し」まれる。わたしたちは神の愛する子です。主は、わたしたちを愛しておられるがゆえに、わたしたちが打ちひしがれたり希望を失ったりすることを心配される。心配されるだけではなく、その愛によってわたしたちを新しくしてくさるのです。弱ったわたしたち、主を見失い、目標を見失ったわたしたちを新たにしてくさる。わたしたちは強められ、救い主イエスを見出し、神の国という目標を再びはっきりと知らされま

そして三つ目。

「(主は) お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。」

ここは聖書全体の中の最高の箇所の一つです。特別なことが言われています。何かと言うと、神が喜びの歌をみずから歌われる、というのです。聖書、特に旧約聖書の中には、歌や音楽について書かれた箇所がたくさんあります。そのほとんどは礼拝ないし祈りに関係しています。昔の人も音楽を通して祈り、神を賛美しました。わたしたちも同じです。祈りは歌となって、神に献げられる。<人から神へ>です。ところがここでは、神が、神ご自身が歌われる。わたしたちへの神の愛は、歌となってほとばしり出るのです。<神から人へ>です。

「(主は) お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。」

わたしたちは目を覚まして気づかなくてはなりません。これほど、これほどわたしたちは神に愛され、主イエスに喜ばれている存在なのです。

「お前の主なる神はお前のただ中におられ／勇士であって勝利を与えられる。主はお前のゆえに喜び楽しみ／愛によってお前を新たにし／お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。」

3:17

これがわたしたちの神、これがわたしたちの救い主イエス・キリストです。

祈ります。

神さま、あなたがわたしたちを愛して、わたしたちのゆえに喜びの歌を歌われると、今日の聖書から聞きました。このクリスマスに、あなたが愛のゆえに送ってくださった救い主を、わたしたちのうちに喜びをもって新たに迎えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン